

[1-C-01] エコ通勤等の奨励

分類	TDM（交通需要マネジメント）
細分類	ノーカーデー、時差通勤
実施主体	秦野市、はだの交通スリム化協力事業所懇談会
実施時期（期間）	平成10年度～
対象地域	市内全域
実施段階	実施中
実施目的	普段自動車を利用している人に対して、鉄道やバスなどの公共交通機関や自転車・徒歩などによる移動（自動車の効率的利用）を促し、交通渋滞の緩和や地球温暖化対策に寄与することを目的とする。
コスト及び財源	-
実施概要	<p>1 交通スリム化キャンペーンはだの 平成17年度から、普段自動車を利用している市民や市内事業所（市役所含む）に対して、期間中、徒歩や自転車、公共交通機関等での移動を呼びかける「交通スリム化キャンペーンはだの」（旧：ノーマイカーウィーク秦野）を実施しました。事業所に参加を呼びかけ、従業員の取組実績を御報告いただくなど、実施効果を評価しています。</p>   <p>2 事業所自主参加型エコ通勤デー 平成23年度からは、期間限定的ではなく通年型事業として、事業所の自主的・継続的な取組を促しています。</p> <p>3 交通スリム化教育 公共交通利用することにより、交通渋滞の緩和とCO2削減による地球温暖化対策が図られることから、公共交通に関心をもってもらうため、小学生の交通安全教室の時間に合わせて、公共交通利用促進による交通量削減の効果と渋滞緩和を目的とした「スリム化教育授業」を実施しています。</p>

	<p>4 交通スリム化協力事業所等表彰 平成25年度に、交通環境対策に積極的に取り組み、その功績が他の事業所等の模範になると認められる事業所等を交通スリム化優良事業所等として表彰する制度を創設し、毎年表彰式を実施しています。</p>
実施結果	<p>【令和5年度実施結果】</p> <p>1 交通スリム化キャンペーンはだの      ■実施期間：令和5年11月1日（水）～8日（水）      ■参加登録数：計15事業所（市役所及び市民団体含む）      ■参加者数（延べ）        ノーマイカー通勤者数：1,246人        時差出勤者数：435人      ■CO2削減効果：約4.5トン（落葉広葉樹（幹径20cm）約77本分（1か月の吸収量で換算）の植樹に相当）</p> <p>2 事業所自主参加型エコ通勤デー      ■実施期間：令和5年1月～12月      ■参加登録数：8事業所（市役所を含む。）      ■参加者数（延べ）        ノーマイカー通勤者数：22,710人        時差出勤者数：2,112人      ■CO2削減効果：約67トン（落葉広葉樹（幹径20cm）約95本分（1か月の吸収量で換算）の植樹に相当）</p> <p>3 交通スリム化教育      渋沢小学校1・3年生、末広小学校3・5年生を対象に、交通安全教室の時間に合わせて「スリム化教育授業」を実施しています。</p> <p>4 交通スリム化協力事業所等表彰      「事業所自主参加型エコ通勤デー」の取組において、顕著な成果を上げた事業所を表彰。      (1) 交通スリム化優良事業所表彰        ・株式会社リンレイ秦野事業所      (2) 交通スリム化キャンペーン奨励賞        ・秦野給食センター協同組合</p>
その他課題等	参加事業所数の拡大、インセンティブ策の検討、新型コロナウイルスの影響
類似事例	
連絡先	秦野市 都市部 交通住宅課 公共交通担当 電話：0463-82-9644（直通）
備考	ホームページ（秦野市公式ホームページ：「交通スリム化」に向けた取組） <a href="https://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1001000000474/index.html">https://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1001000000474/index.html</a>

[ 1 - C - 0 2 ] エコ通勤デー

分類	TDM(交通需要マネジメント)
細分類	エコ通勤デー
実施主体	県央やまなみ地域5市町村(厚木市、秦野市、伊勢原市、愛川町、清川村)
実施時期 (期間)	令和5年3月8日
対象地域	県央やまなみ地域5市町村職員の通勤範囲内
実施段階	実施中
実施目的	SDGsやカーボンニュートラルの達成に向け、5市町村職員が参加する「エコ通勤デー」として、自家用車等での通勤自粛を呼び掛け、環境負荷の低減や、公共交通を利用することの重要性をアピールするとともに、自治体職員として環境行動に対する意識を高めることを目的に実施した。
コスト及び 財源	なし
実施概要	令和5年3月8日(金)を「エコ通勤デー」と設定し、その日は路線バス等の公共交通の利用や徒歩、自転車、エコカー、相乗り、在宅勤務等を選択することにより、できる範囲で自家用車の利用を控えて通勤してもらった。
実施結果	<p>■実施日 令和5年3月8日(金)</p> <p>■参加者数 (厚木市のみ)</p> <p>自家用車通勤者 995 人、参加者数 536 人(参加割合 53.9%)</p> <p>■CO<sub>2</sub>排出量削減効果 約2,423キログラム(500mlのペットボトルに換算すると約2,423,000本分に相当)</p>
その他 課題等	
類似事例	秦野市、箱根町
連絡先	厚木市都市みらい部都市計画課 電話 (046)225-2357
備考	

[ 1 - C - 0 3 ] ECO(エコ)通勤

分類	TDM(交通需要マネジメント)
細分類	ノーマイカーデー、時差出勤
実施主体	箱根町役場
実施時期 (期間)	職員自ら決めた日(月 2 回・消防署勤務職員は月 1 回以上)とする。
対象地域	町職員の通勤範囲内
実施段階	本格実施
実施目的	自家用車等が排出する二酸化炭素や窒素酸化物を減らすことで、地球温暖化防止など環境対策の一助とし、職員の環境意識の向上を目指す。
コスト及び 財源	なし
実施概要	<p>町職員を対象として平成 2 年から実施していた『ノーカーデー』を平成 22 年 2 月から『ECO(エコ)通勤』に変更した。</p> <p>職員自ら決めた日(月 2 日・消防署勤務職員は月 1 回以上)を ECO(エコ)通勤日として定め、実施する。</p> <p>相乗り通勤や、公共交通機関及び二輪車(自転車・自動二輪車)の利用を促進する。</p>
実施結果	令和5年度は職員の 80.1%が ECO(エコ)通勤を実施した。
その他 課題等	
類似事例	
連絡先	箱根町総務部総務防災課 TEL: 0460-85-9561
備考	

[ 1 - C - 0 4 ] ストップ地球温暖化・箱根ノーマイカー通勤ウィークス

分類	TDM(交通需要マネジメント)
細分類	ノーマイカーデー、エコ通勤、時差通勤
実施主体	箱根町役場
実施時期 (期間)	平成 22 年度～
対象地域	町内全域
実施段階	実施中
実施目的	町内事業所のマイカー通勤者に対して、電車やバスなど公共交通機関等による通勤を促し、自動車排気ガス抑制等の地球温暖化対策を目的として実施する。
コスト及び 財源	なし
実施概要	<p>「環境先進観光地-箱根」の実現に向け、平成22年度から町内事業所の協力を得てノーマイカー通勤デー(ウィークス)を実施。</p> <p>参加する事業所は、マイカー以外の交通手段による通勤が困難である者を除いたマイカー通勤者に対し、実施期間中 1 日以上のノーマイカー通勤(公共交通機関、自動車の相乗り、徒歩、自転車等による通勤)の自主的な実施を呼びかけている。</p> <p>例年、6 月(環境月間)と 12 月(地球温暖化防止月間)に、町内事業所への通勤者が参加する地球温暖化対策として実施している。</p>
実施結果	R5 年度は 6 月 1 日(木)～30 日(金)に実施した。 参加人数は、145 人(述べ実施人数 291 人)。
その他 課題等	
類似事例	
連絡先	箱根町環境整備部環境課 TEL: 0460-85-9565
備考	